

本図は日本の「河川湖沼の浄化と分離汚染物質資源化技術」を海外用に提示したものです。海外の汚染された河川湖沼水を工業用水や飲料水にする場合、①膨大な費用を捻出する事が出来るかどうかで、政府主導の環境改善の成否が決まります。このような場合、国庫（税金）から支出するのは次善の策にします。日本の技術を使用すると汚染河川湖沼を資源化できますので、販売して大きな利益を上げて、その利益で河川湖沼の浄化を行います。日本政府と汚染河川を持つ政府の間で「河川湖沼浄化20年計画」の契約を結び、河川と農村の水確保の合併会社を作り日本側70%汚染河川を持つ国30%の出資会社とし運営費用は下記商品を独占販売にして、浄化費用を捻出します。

**Plan-1 汚染された河川湖沼は、8つの資源化技術で3850億ドルの売上で50%の粗利が得ます** Contaminated river, lake, pond are 8 treasure mines of \$385.0billion

